

隨

想

## ほしがおか

大学は長久手キャンパスと星が丘キャンバスにわかれている。長久手キャンバスに通う学生でも名古屋市営地下鉄東山線の「星ヶ丘」の近くに

キャンバスがあることくらいは知っているはずだ。だが、星が丘キャンバスの住所は「星が丘」ではなく「桜が丘」であるということは長久手キャンパスに通う学生の多くが知らないのであるだろうか。さらに「星ヶ丘」なのか「星が丘」なのかとことなると、自信をもって答えられる人はかなり少ないはずだ。

愛知淑徳大学のホームページをみると、「星が丘キャンバス」と記載されている。星が丘キャンバスの南側には「星ヶ丘」という町名がつけられている。地下鉄の駅も「星ヶ丘」だが、地下鉄駅のすぐ北側は「星が丘山手」、南側は「星が丘元町」、「星ヶ丘」と「星が丘」が混在している。

「千種区史」には、1955年(昭和30年)に住宅公団が住宅団地を開発したさいに、当時名古屋市の住宅団地のなかで一番高い所にあつたこと

から、星にもつとも近く、輝く星の美しい丘という意味をこめて星ヶ丘団地と命名したのであろう、と書かれている。

町名として「星ヶ丘」が成立したのは1957年、「星が丘元町」が成立したのは1985年である。現在の地に愛知淑徳学園が移転したのは1959年のことであるから、「星ヶ丘」の命名から4年後である。もつとも、移転当初は桜が丘校舎といっていたようである。桜が丘の命名は1931年だが、正式に町名となつたのは1976年である。いつ頃、なぜ星が丘キャンバスというようになつたのか。少し気になつていて

